一般社団法人　政経倶楽部連合会

GUIDE BOOK 公式法人案内

Contents

Introduction

01 ご挨拶：理事長　吉田 平

Philosophy

02 基本理念／ビジョン／政経倶楽部の構成

Dialogue

03-05 対談：林英臣（主席顧問）＆寒竹郁夫（ファウンダー）

Platform

06 一般社団法人政経倶楽部連合会　新綱領

Profile

07 概要／全国支部/沿革

Activities

08 3つの活動方針：【学ぶ】【伝える】【育てる】／7つの事業

Message

09 顧問、理事よりお伝えしたいこと

Joining

10 入会のご案内

【問い合わせ先】

一般社団法人 政経倶楽部連合会 事務局

〒261-0004 千葉市美浜区高洲4-1-9 郁栄ビル7F

TEL：050-3786-2960 FAX：043-245-6188

E-mail：info@seikei-club.jp

ホームページ　https://www.seikei-club.jp/

Facebook　https://www.facebook.com/seikeiclub/

ホームページ

フェイスブック

SIAA ISO 22196 抗菌加工

無機抗菌剤・印刷表紙部分 JP0122483A0002X

このパンフレットの表紙・裏表紙は抗菌加工しています

ＳＩＡＡマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

202201.1000

日本創生

公式法人案内

令和の1000人の坂本龍馬になる、
希望あふれる日本を！

政経倶楽部

一般社団法人 政経倶楽部連合会

時代の変化にふさわしい新しい政治・経済・社会システムを創る

このままでは、日本の未来が危ない！

“志”ある仲間を募ります！

「経営者と政治家が切磋琢磨し、日本をよりよい国にしていこう」。
「“実際に行動する会”を創ろう」。
この想いが、政経倶楽部設立の原点です。

日本は、皇統を中心に据え、2600年以上もの歴史を持つ世界でも稀有な国です。
栄枯盛衰を繰り返しながらも、先祖を大切にし、勤勉で、和の心で信頼しあう国、日本。
大東亜戦争の災禍からも、先人の努力によって大復興を成し遂げました。

そして、20世紀型資本主義経済の金属疲労による世界文明の大転換点の今こそ、
中心的な役割を担える存在になりうるのが日本であり、だからこそ我々が、
受け継いでいる精神や文化を誇りに、変化に対応し、徳をもって成り立つ社会を先導していくべきではないでしょうか。

経営者は事業経営を通じて、社会への貢献、取引先・地域の繁栄、働く人々・家族の幸せを常に考えています。
未来の子供たちのために幸せな国であり続けることに、責任と自覚を持ち、日々現実社会の中で戦っています。
この健全な事業経営ができるための土台となり、「日本をよくしたい」という純粋な思いを遂げるためには、
国を担える国家観ある本物の政治家との連携が必要です。
政経倶楽部は、政治家と共に、日本をよくしていくための、学びの場であり、研鑽の場であり、実践の場です。
本物の政治家、1000人の坂本龍馬を育てるという大志のもと、
これまでに国会議員はじめ多くの地方議員が、仲間から誕生しています。

バブル崩壊から30年余、国力の源泉としての経済力は世界の中で低迷し続けています。
これまで先人が積み重ねてきた、素晴らしい徳性すらも今、失われつつある日本。
危機は、迫っています。日本の自治すら奪われかねません。
まさに今、覚醒しなければ、日本は消えてしまいます。
あなたは、それでよいですか？

私たち今を生きる経営者一人ひとりの行動に、日本の運命がかかっています。
今こそ、経済人と政治家とが一体となり、世界文明の精神的支柱の担い手、日本を創生させる時です。
さあ、是非、一緒に実践していきましょう。日本の創生の歩みを！

理事長　吉田 平

プロフィール

吉田平（よしだたいら）1959年千葉県生まれ
東北大学工学部卒後、リクルート入社。
12年間のサラリーマン生活を経て、35歳の時父親が創業したバス・タクシー会社に入社、平成19年に同社代表取締役に就任。
その後、第三セクター・いすみ鉄道社長公募に応募し、平成20年4月より初代民間公募社長として平成21年2月まで代表取締役に就任。政経倶楽部の学び・実践の結果、平成21年3月の千葉県知事選挙に出馬。64万票得るも落選。
現在は、西岬観光株式会社、あすか交通株式会社、平和交通株式会社の3社をグループとする「ビィー・トランセホールディングス株式会社」代表取締役。旅客事業会社として地域社会に根差した新しい取り組みへの実績多数。

政経倶楽部連合会は、
“3つの基本理念”を実現することを目的とした、経営者ならびに有志の会です。

3つの基本理念

01 ▶「共生文明の創造」…互いを認め合い助け合い活かしあう文明

02 ▶「高徳国家の建設」…個人も国家も社会も品格を高め合う世界

03 ▶「公益経済の確立」…世のため・人のため・みんなのためになる経済

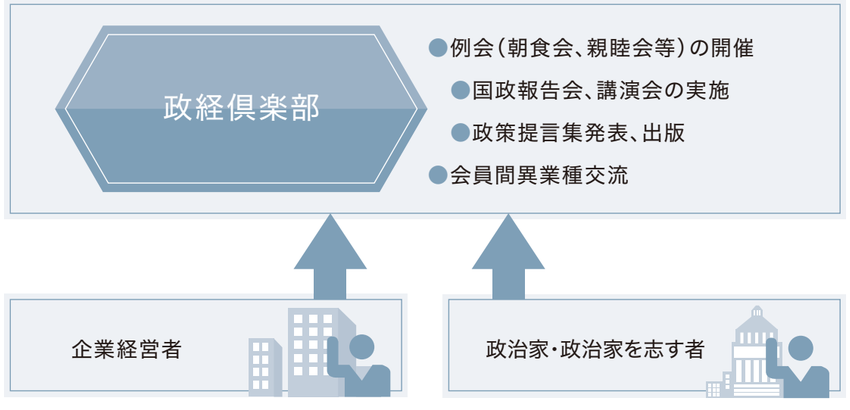
上記の3つの基本理念のもと、
「心の時代」にふさわしい理想、哲学を探求し、
世界のリーダーたる誇り高き日本の創生に取り組みます。

【ビジョン】

政経倶楽部は、日本のみならず世界を託すことのできる「1000人の坂本龍馬」を育て、国政の場に送り込むことで総理大臣を輩出し「日本創生」を実現します。

政経倶楽部に集う経営者は、日本創生のため大局的視点で国家経営に参画し、社会の公器としての使命を果たします。

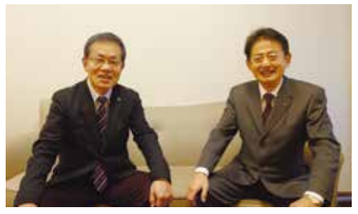
政経倶楽部に集う政治家と経営者は、対等の立場で一致団結し、日本創生のための政策立案を行います。



激動の時代における
政経倶楽部の使命と役割

《対 談》

林 英臣【主席顧問】
&
寒竹 郁夫【ファウンダー】



800年周期で交代してきた文明 その法則史学に見通す未来

林◆市井の大学者、村山節先生の文明法則史学があります。マクロの立場から世界全体を見るという歴史学で、世界文明の周期性を明らかにしました。世界文明は2つのグループに分かれます。東のグループは日本、中国、インド、(メポソタミア、シュメール、ペルシャ・イスラムなどの)西アジアまで含み、西のグループは古代エジプト、古代ギリシャ、古代ローマ、ヨーロッパ、現在のアメリカなど。なぜ分かれるかというと、2つのグループでは栄える時期が800年ほどずれているからです。800年ごとに東西文明が入れ替わるということが、帰納法的な研究によって証明されました。これが文明法則史学です。

問題なのは、入れ替わる時期が世界史激動の変革期になっていること。800年前のモンゴル軍の大移動、1600年前のフン族・ゲルマン民族の大移動、2400年前のアレクサンドロス大王の大遠征がそれです。そこで世界史が大きく入れ替わります。新しい文明が起こり、古い文明が音を立てて崩れ去る。私の重要な講演テーマの一つがこの「文明法則史学」であり、政経倶楽部との関りも、寒竹ファウンダーが私に「文明法則史学」の講演を依頼したのがご縁でした。その後、政経倶楽部の主席顧問としてかかわっております。政経倶楽部の時代を見る大局観は、文明法則史学に基づいているのです。

21世紀の今が、まさに文明の交代期です。日本を中心としたアジアは発展、対照

的に欧米は衰退の一途にあります。村山節先生は1975年からの100年を交代期と考えていました。その中でも一番の暴風域となるのが2025年～2050年の時期。30年前に、この期間を大きな嵐の時期となると予見されました。私は、この嵐を避ける努力を人間の力で何としたいと考えて、これまで啓蒙に努めてきました。

ところが、中国が経済成長をとげ、中国マネーが世界を動かし始めています。今回の膨張帝国の主役は中国共産党を率いる習近平になってきたかの感があります。習近平が、過去のチンギスハンやアレクサンドロス大王のような覇権的独裁者となろうとしているのではないかと。日本は膨張する中国に飲み込まれないよう、自立した国家をつくってゆかなければならない。アメリカの後ろ盾もあてにならなくなっています。我が国は非常に厳しい状況となっているのです。

日本を変え、世界を救う 志ある経営者の参加

林◆こうした状況の中で、一番大切なのは「政治」。政治を変えなくてはなりません。しかし、政治家だけで世の中を変えることはできません。日本を守るための国民運動をおこさなくてはいけないのです。政治家だけではなく、経営者も参画しないといけない。政経一致で学びあい、提言し行動する。こうした行動をしている会は、政経倶楽部以外は見当たりません。そういう意味で、政経倶楽部の役割はとても大きいと思います。

一般的に、経営者団体は政治がらみを嫌う傾向がありますが、政経倶楽部は当初から政経一致した会で、政治家に媚びることもなく敬遠することもありません。一党一派に偏することなく有力な政治家を招いています。地方支部でも地域の政治家や林英臣政経塾の塾士が講師となり、例会を行っています。

若手経営者の中には、自身の事業は一定の成果をあげたが、何か満たされないものを感じている方も多いのです。一度限りの人生で、このままでよいのか。一定の成果は成し遂げたが、もっとやることがあるはず。世界が激変する中、主体的に動いて世界や日本を救いたい、世の中の変革にもっと積極的にかかわりたいという方も多々あります。そういう経営者を求める会がどこかあるのだろうか。政経倶楽部では、そういう志のある若手経営者に大いに参加を求めたいと思います。

経営者が、政治を担わなくてはいけないと感じています。政治家になってほしいという訳ではなく、経営センス、経営マインドもった人が政治家のそばに付かなくてはいけない。政治に提言する、政治家を育てる、こうしたことが大切だと思います。政経倶楽部は、業界や会社のための親睦団体ではなく、異業種交流会でもありません。

若手政治家を育てるということでは、17年前(令和4年度)にはじめた林英臣政経塾「政治家天命講座(※P09)」があり、政経倶楽部にも支援していただいています。ここで育った若手政治家が、政経倶楽部の各支部で講師を務めるなど連携を深めています。

新しい日本と世界をつくる活動 政経倶楽部の役割、将来ビジョン

林◆日本の近代は、明治、大正、昭和の敗戦まで、徹底的に西洋に学ぼうとしました。日本の急成長に危惧する欧米が我が国に戦いを挑み、敗戦に至ったと考えています。そして、戦後はアメリカ占領下におかれてきましたが、先人の努力によって焼け跡からの経済復興を果たしました。さあ、まもなく新しい社会秩序を誕生させるべきところに来ていると確信しています。ひとつが2019年の御代替わり、令和への改元。ふたつ目に2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピック2020の成功。さらに、2024年には1万円札の肖像画が渋沢栄一翁になります。渋沢栄一は「論語と算盤」で知られるように公益経済の推奨者です。

そしてこれからは、東京一極集中を脱して地方も豊かにならなくてはいけませんが、2025年の大阪関西万博がきっかけになるのではないか。今回の万博は、「未来の都市」がテーマであり、大阪関西万博に行けば、これからの地方都市の生活のありようを見ることができるのではないかと思います。私はこうした一連の動きが今後2025年まで続けば、新しい日本の誕生を後押しすると考えています。

そうなると、そこに向かって政治も変わらなくてはなりません。既成政党にとらわれない枠組みで、新しい日本を起こし、新しい世界に向かう。そして、侵略されない新しい日本をつくっていかなくてはなりません。そういう動きに合わせて先導するのが政経倶楽部の役割であり、会が掲げる将来ビジョンだと考えています。若手経営者のなかには、自身や社員の徳を高めるということを求めている人が多くいます。こういうことに応えられるのが政経倶

【主席顧問】
HIDEOMI HAYASHI

林 英臣

1957年浜松市生まれ
松下政経塾1期生。東洋・日本思想家
一般社団法人政経倶楽部連合会主席顧問　同法人併設・日本政経連合総研理事長　一般社団法人林英臣政経塾塾長　一般社団法人綜學社やまとことば語り部養成協会代表理事　国会綜學勉強会講師　一般社団法人公益資本主義推進協議会相談役 綜學院(東京・京都)専任講師
松下幸之助氏の直弟子として「国手」となる約束を交わし、日本改新を志す。林塾「政治家天命講座」を開講し(令和4年度で第17期)のべ8名の国会議員、10数名の首長、200名超の地方議員をはじめ、多数の志士政治家を育てている。
「大國民讀本を読む」、「原大本徹 短編集1・2・3」「綜學入門」など著書多数。

【ファウンダー】
IKUO KANTAKE

寒竹 郁夫

1957年、東京都出身。日本大学大学院卒業。
歯科医師・歯学博士。
歯科医師として自ら訪問歯科診療に取り組む中、デンタルサポート株式会社を立ち上げ、企業が訪問歯科診療をフルサポートするという、日本初のビジネススキームを構築して全国に展開する。2015年4月に医療機関と株式会社の複合体である、DSヘルスケアグループ代表・CEOに就任。歯科医療を原点とし、医科・介護も提供するグループとして国内外に活動領域を広げている。

楽部だと確信します。3つの基本理念（※P02/P06）に基づき行動する志の高い経営者、政治家が集った他に類を見ない団体、それが政経倶楽部です。

寒竹◆激動する世界における日本の立ち位置は厳しい状況です。しかし、経営者の多くは、自分の会社のことだしか見ていません。私も経営者の前で話す機会がありますが、自分の会社の資金繰りとか売り上げをあげるとか、それに汲々としている経営者が多いと感じています。しかし、林先生のおっしゃるように志を高く持てば、コロナ禍の意味も分かってきますし、どんな難局も必ず乗り越えられます。そもそも、「公」という考えがないと会社は発展しません。

自分の会社を大事に思う気持ちと同時に公器であると考え、日本の発展のために尽くそうという志の高い経営者を増やしていくのが政経倶楽部の役割だと思っています。

また、これからの世界は「覇権主義」ではなく、「王道主義」が牽引していくべきです。そのための日本の役割が重要なのです。

政経倶楽部の活動方針は「学ぶ」「伝える」「育てる」を３本柱としています。例会には林先生をはじめ志の高い講師をお招きして、心に火をつけるような講話をしていただいています。そこで学んだことを政策提言や出版のかたちで伝え、次代を担う人材を育てることに注力しています。林英臣政経塾の政治家天命講座の支援を通して若手政治家の育成にも取り組んでいます。

最も大切なのは、政経倶楽部で得た刺激を自分の会社や地域に持ち帰り、自身のフィールドでどう展開するかです。そういう活動の輪を広げていきたいと思っています。

足りない！これじゃいかん！という気づきが大事
この先に、大切なのは「原点回帰」
日本国も、会社も、個人も理念を掲げ、志をたてて行動する大切さを学ぼう

寒竹◆尊敬する織田信長のように、ゴールを設定して、そこからどのように戦略におとすかを考えたいと思います。

自分の事業展開においても、理念を掲げて行動する大切さを学ばせていただきました。

林◆理想と現実のギャップは、「志」をたてて（ギャップを）うめることです。それは、教育や政治によって、現実化していきます。10年後→5年後→1年後はどうなっていたいかなど、目標設定で、着実に現実につなげていきます。

現実に埋没し、うまく泳ごうとしたり、理想におぼれ、現実を見ようとせず、「なりたい、やりたい、いきたい」で終わる人生には、インパクトがありません。

これからは、「なる！やる！いく！」という実現力を持った言葉に切り替えるべきであり、そのために「志」が必要なのです。

寒竹◆中小企業の経営者が牽引して国民全体が考える、その突破口になる、他にはない「会」です。全国規模でたくさんの同志を募って、来たるべき世界の大変革を乗り切っていきたいと思います。

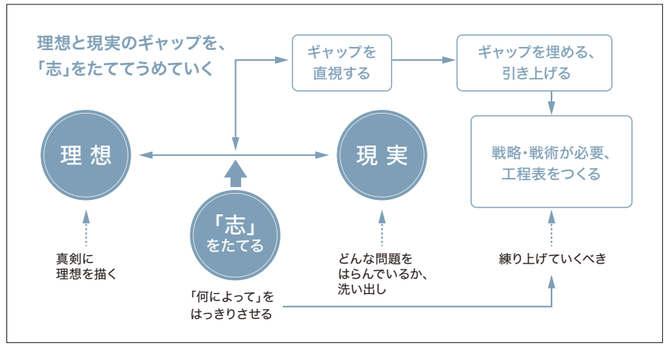
林◆激動期の動揺に、経営者は翻弄され、逃げたくもなるが、大事なのは「原点回帰」。なぜこの仕事をしているか、なんで経営しているか、ここがぶれるとうまくいかなくなります。

「三種の神器」の心が、経営にも大事になります。「鏡：誠の経営をやってきたか」、「玉：社員に対する真の愛情をもっているか」、「剣：正義、筋の通った勇気でやっているか」について自問自答しましょう。今後の日本の原点回帰によって、素朴で雄大なものが創造され、古典が復活し、大和言葉と神話が見直されることになると思われます。日本には深い基底文化層があり、原点が失われていないことは、本当に日本人の幸運だと思います。

また、これからは地方の豊かな土地に「人間進化都市」が建設されるでしょう。自然と融合した森の中の木造建築都市が発展し、空飛ぶ車で行き来する（大きな道

路はいらない）時代がきます。

2050年～2075年頃になれば、日本が世界のモデルになり、世界からオファーが来る「インテリジェンス国家」になることを目指そうではありませんか。



一般社団法人政経倶楽部連合会

新綱領

30年前まで日本はJapan as No 1と言われ、日本の製品が世界を席巻し、日本の経済的プレゼンスは世界中に大きな影響力を持っていました。しかしながら日本のバブルは崩壊し「失われた30年」といわれ今日に至っております。長期的な経済成長の低下、それに伴う低い労働生産性、人口減少・少子高齢化、都市への人口集中と地方の衰退、社会資本の老朽化等が進み、今なお日本はデフレ経済に苦しんでいます。外に目を向ければ、中国の我が物顔の侵略主義ともとれる行動、北朝鮮からのミサイルによる挑発等においても何ら対策も取れず、拉致問題や領土問題も手つかずに放置され、衰退するアメリカにただすがるだけの安全保障になっています。近年は経済安全保障も喫緊の課題として残っています。また気候温暖化問題は世界の課題とはいえ、積極的なエネルギー政策は手つかずのままです。日本発先進的成長産業の発達も影を潜め、日本の食物自給率も改善されてはいません。

東日本大震災を経験し新型コロナウィルスの戦いの最中とは言え、日本の政治・経済・社会システムは30年前と大きな変化なく陳腐化していると言えるのです。世界の成長水準からみれば、日本の政治家も経済人も国民もこの30年休眠状態といっても過言ではありません。「日本未来が危ない」を通り越し、日本の地盤沈下は激しく進行しているのです。それにも関わらず政治家も経済人も国民もゆでガエルの様にかりそめの太平の中でうたたねをしているのです。まさに日本沈没は今そこに迫りつつあります。

日本の衰退の原因は、ひとえに未来を指し示す理念・戦略を持たないことに尽きたと思っています。今こそ、この混迷を打破するに沿った理念を持った日本創生が必要なのです。

そこで政経倶楽部では未来を切り開く3つの基本理念を作成いたしました。

私たちは世界のリーダーたる日本を創生するため
1，政経倶楽部は相手を認め合い互いに必要としあう「共生文明の創造」を目指します。
1，政経倶楽部は国民のレベルを向上させる「高徳国家の建設」を目指します。
1，政経倶楽部は世のため人のために働ける「公益経済の確立」を目指します。

この三つの基本理念のもと
素晴らしい日本を創るために…学ぶ。
素晴らしい日本を創る方法を…伝える。
素晴らしい日本を創る人材を…育てる。

この活動を推進するため2004年に政経倶楽部は誕生しました。微力な小さな集団ですが志の強さは大きなものがあります。この想いが毎月の支部ごとの例会活動や、出版、政策提言、そして志ある議員の育成に発展し、東京・千葉・名古屋・大阪・広島・九州と広がり、このたび札幌支部の開設が実現できました。今後もさらに各地に支部展開し、全国各地の仲間の方々と協力してまいりたいと考えております。

今、日本は未曽有の危機に瀕しているのです。危機こそ再生の大きな転機になるチャンスです。真に危機感をもった人物にこそ、その問題解決の鍵は握られていると言えるでしょう。日本に対しての危機感を強く感じるからこそ、それを解決するのは志を持った私たちに与えられた使命なのです。

日本を危機から救う役割は、今まさに私たち政経倶楽部にあるのです。日本創生を実現しうる志ある多くの仲間作りをすすめます。「一般社団法人 政経倶楽部連合会」は日本の未来を構築しうる二十一世紀の新しい政治・経済・社会システムの創造を目的に、それの担い手としての「令和の１０００人の坂本龍馬」を育て、世に出すことにより「日本創生」を現実のものとしていきます。

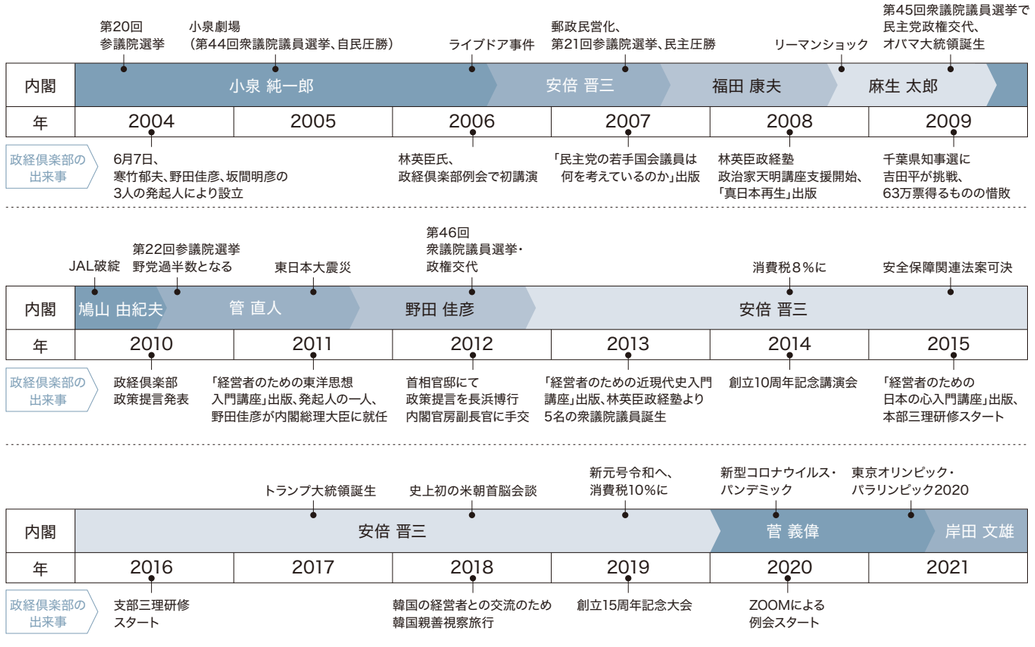
皆様、力を貸してください。そして、私たちの力で世界のリーダーたる日本を創生させていきましょう。

Profile

【法人概要】

・名　称／一般社団法人 政経倶楽部連合会
・設　立／2004年（平成16年）6月7日
・法人格取得／2010年（平成22年）2月4日
・理事長／吉田 平
・副理事長／近藤 昌之
・ファウンダー／寒竹 郁夫
・主席顧問／林 英臣
・顧　問／井上 幸彦
・事務所所在地／千葉市美浜区高洲4-1-9 郁栄ビル7F
TEL：050-3786-2960
・シンクタンク／日本政経連合総研（理事長 林 英臣）
・支部／東京、千葉、九州、大阪、名古屋、広島、札幌

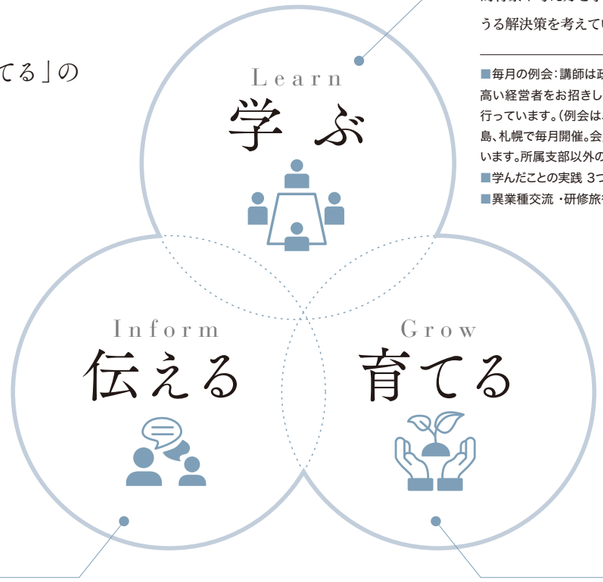
全国マップと各支部・支部長



Activities

【3つの活動方針】

日本を創生するため
政経倶楽部では
「学ぶ」「伝える」「育てる」の
3本柱で活動します



日本の現状・世界の現状を把握し、そこに至る歴史的背景や考え方を学びます。そこから日本を再生しうる解決策を考えていきます。

■毎月の例会：講師は政治家、歴史家、ジャーナリスト、志の高い経営者をお招きし、学ぶだけでなく活発に意見交換を行っています。（例会は、東京、千葉、大阪、名古屋、福岡、広島、札幌で毎月開催。会員向けにZOOMによる配信も行っています。所属支部以外の例会にも参加いただけます。）
■学んだことの実践 3つの基本理念の実現のため活動を展開
■異業種交流・研修旅行

政策提言を行います。また、ホームページや出版を通して、政治家だけでなく国民一人ひとりの心ある人々に政経倶楽部の提言を伝えてゆきます。

■政策提言　■出版5冊
■ホームページ　http://www.seikei-club.jp/
■フェイスブック　https://ja-jp.facebook.com/seikeiclub

日本の未来を託すことの出来る1000人の坂本龍馬を育てます。林英臣政経塾「政治家天命講座」への支援を通じ、政治家や政治家を志す人々を育てます。また会員より政治を志すものを育てていきます。

■日本政経連合総研を通し、林英臣政経塾を支援しています。

7つの事業

01 例 会
毎月、支部ごとに例会を行います。会員向けにZOOMによる配信も随時行っています。会員は他支部の例会にも参加いただけます。

02 講演会
著名な政治家やジャーナリストなどをお招きし講演会を開催します。懇親会では、会員同士の親睦も図れます。

03 研修旅行
歴史探求や行政視察などを目的に研修旅行を行います。深い学びとともに会員同士の親睦も図れます。

04 出 版
政策提言や講演内容をまとめ出版事業を行います。今後は電子書籍による出版など検討しています。

05 政策提言
政経倶楽部のこれまで培った政府関係者や政治家との人脈を通し、政策提言を行います。

06 三理研修
三つの基本理念を学ぶ研修会を三理研修と呼んでいます。人生の原点を見つめ直し、今後の生き方を考える研修です。

07 日本政経連合総研
政経倶楽部のシンクタンクとして林英臣主席顧問を中心に活動しています。

顧問　井上 幸彦（元警視総監）

山梨県甲府市生まれ。京都大学法学部卒業後、警察庁入庁。警察庁、外務省、警視庁、在イタリア日本大使館、千葉県警察等勤務。警視総監（第 80 代）2008 年・瑞宝重光章。財団法人日本盲導犬協会理事長。財団法人合気道養神会理事長。学術社団日本安全保障・危機管理学会副会長　等。

副理事長　近藤 昌之

柔道整復師、介護支援専門員。社会保障審議会柔道整復専門委員も務める。千葉県 東京都内において整骨院など60の施設を展開するCMCグループ代表。大東流合気柔術・一刀流剣術伝承者でもある。

集まれ、人間力を養う場に

私と政経倶楽部との関係は、3年程前に会員である友人から「会で講演してもらえないか」との依頼を受け、講演させていただいたご縁が最初です。その際、「オウムとの戦い（危機管理の立場から）」と題して講演させていただいたところ、折しもあの許し難い犯罪者集団の首魁・麻原彰晃こと松本智津夫ら十三人の死刑囚の死刑執行が取りざたされている時期であり、皆さまに熱心に聞いていただけたことが極めて印象的でした。そんなこともあり、当会の顧問に、というありがたいお言葉をいただき、会のためにお役に立てるならとの思いでお引き受けした次第です。

この会は、自分の知らない世界のことを知り、また人間力を養う「よすが」となること。これが一番の魅力なのではないでしょうか。

これからも、熱心な方々が集い、互いに学び合う楽しいふれあいの場として、さらに成長していくことを心から期待しています。集まろう！人間力を養うこの倶楽部に。

政経倶楽部の役割

とこへ行くのか日本。目標を見失った日本。これが失われた30年の日本の姿です。

日本の地盤沈下はすさまじいものがあります。

勿論、日本の国も日本人も日本の産業も良いところは沢山持っています。ところがそれが一つにまとまっていなのです。明治の時代には富国強兵・殖産興業がありました。戦後の日本は廃墟からの復興がありました。今の日本は目的のない幽霊船。政治家も官僚も経済人も社会システムも、いわんや日本の国そして日本人が彷徨ってしまっているのです。

政経倶楽部の役割はただ一つ。日本の行く道を指し示すこと。日本の国・日本人に目的を持たせること。この役割を持って政経倶楽部はこれからも日本の未来を先導する灯りとなり続けます。

東京支部長　谷口 郁子

共立薬科大学卒業後、昭和電工(株)にて新薬の開発に携わる。1989年に調剤薬局イムノエイト株式会社を、93年に渡米しイムノコーポレーションUSAを設立。現在、イムノグループ代表。2002年「世界優秀女性起業家賞」受賞。内閣府男女共同参画局チャレンジ支援ネットワーク委員、宇宙航空研究開発機構JEM応用利用推進委員会等、多くの公職にも就任。

志ある中小企業経営者が、政治家とともに日本をよくしていこう

当会の魅力のひとつは、その道の第一人者の講師陣との交流です。政治家、経済人、歴史家、思想家、ジャーナリスト、作家、評論家、元外交官等々、近年は女性講師も積極的にお招きしています。また、中国、ウクライナ、東トルキスタン（新疆ウイグル自治区）等、海外ご出身の講師もお招きし、国際的な視野も育みながら、白熱ご講演プラス本音の質疑応答で学びを深めています。

ネットで著名人の動画が容易に見られる時代ですが、やはり一期一会の濃密なひとときは格別です。アーティストの生ライブの興奮以上かもしれません（笑）。私も毎回、鼓舞され、明日への活力となっています。

当会から、市議会議員に挑戦しみごと当選、活躍を続ける女性たちも誕生しています。どうぞ皆さま、ぜひごいっしょに、学び、伝え、育ててまいりましょう！

日本政経連合総研

政経倶楽部のシンクタンクとして連携

政経倶楽部連合会のシンクタンクとして政策提言や文明法則史学の研究などを行っています。林英臣主席顧問が理事長を務め、政経倶楽部の会員や林英臣政経塾の塾士がメンバーとして研究を行っています。

林英臣政経塾「政治家天命講座」

志のある若手政治家を鍛え上げる

政治家としての「原点・大局・本氣・徹底」や日本の原点「古事記」、「大和言葉」など1年間かけて学びます。講座を卒業した塾士からは令和4年現在で、のべ8名の国会議員、10数名の首長、200名を超える地方議員など多くの政治家を育てています。

志ある皆さまの入会を、心より歓迎いたします

※企業経営者を中心とした一般社団法人で、政治団体ではありません。

〈入会のご案内〉

入会資格

●当会の趣旨に賛同いただける方
（企業の経営者、経営幹部、政治家、政治家を志す者）

入会には、理事会での承認が必要となります。
詳しくは「会員規約」をお読みください

入会について

申込書をダウンロードした後、
プリントアウトしてご使用ください。
必要事項にご記入の上、事務局宛に郵送または
ファックスで送ってください。

問い合わせ先

一般社団法人 政経倶楽部連合会 事務局
ホームページhttps://www.seikei-club.jp/
〒261-0004 千葉市美浜区高洲4-1-9 郁栄ビル7F
TEL：050-3786-2960　FAX：043-245-6188

【会員制度】

会員種別	会員種別	特　典	備　考
正会員			
法人特別会員	月額／100,000円	本人と社員9名まで会員の費用で当会の事業に参加できる	
法人会員	月額／20,000円	本人と社員1名まで会員の費用で当会の事業に参加できる	
一般会員	月額／10,000円	会員の費用で当会の事業に参加できる	
フェロー会員	月額／5,000円	会員の費用で当会の事業に参加できる	政治家及び政治家を志す者
サポーター会員			
サポーター会員	月額／2,000円	ビジターの費用で当会の事業に参加できる	

【会員規約】

第１条(会員)
本規約で会員とは、（１）【学ぶ】日本・世界の現状を正確に把握し、そこに至る歴史的背景や考察を学ぶとともに、日本創生のための解決策、方法を学ぶ、（２）【伝える】現在、未来のための大局に立った政策提言を行い、出版やホームページを通し継続的に情報を発信する、（３）【育てる】日本のみならず世界の将来を託すことのできる若手政治家を育てるという一般社団法人 政経倶楽部連合会（以下「本会」という）の目的及びその事業に賛同し、本規約を承認し、入会を申し込んだ法人又は個人のうち、本会が入会を認めた者をいう。
第２条(事業)
本会は、次の事業を行う。
1　学びの場としての、例会、講演会、研修旅行などを開催する。
2　会員相互の信頼と親睦を深め、ネットワークをひろげるための交流会・親睦会などを開催する。
3　政策提言集の出版や、ホームページを通し活動実績や提言を発信する。
4　若手政治家育成のために政治家天命講座を支援する。
5　政策研究のために日本政経連合総研を設置する。
6　目的を遂行するために支部をつくり全国に会員を募る。
7　その他、本会の目的を達成するために必要な事業
第３条(会員の種別)
1　会員は「正会員」と「サポーター会員」に区分する。
なお、本会への入会を検討している法人又は個人で、正会員の紹介がある者は、「ビジター」として、例会等に参加することができる。
2　「正会員」は「法人特別会員」、「法人会員」、「一般会員」、「フェロー会員」の４種に分類する。
第４条(会員・特典)
1　会員は別表に定める会費を支払うものとする。
2　会員は会員種別により、別表に定める特典を受けることができる。
第５条(入会)
1　本会の正会員になろうとする者は、正会員1名以上の推薦を得て、入会申込書を理事長に提出し、理事会にて審査承認を受けなければならない。
2　本会のサポーター会員になろうとする者は、入会申込書を理事長に提出し、理事会にて審査承認を受けなければならない 。
第６条(退会)
1　所定の手続きにより、退会の申し出があったとき会員資格を喪失し退会する。
2　定款その他の規則に違反したとき、または、本会の名誉を傷つけ、本会の目的に反する行為をしたとき、その他、正当な事由があるとき、理事会の決議により、会員を退会させることができる。
3　前2項の場合のほか、会員は次のいずれかに該当するに至ったとき、その資格を喪失する。
4　当該会員の死亡、または解散
5　第４条の支払い義務を3ヶ月以上履行しなかったとき。
6　前３項により会員の資格を喪失したときは、本会に対する権利を失い、義務を免れる。但し、会員がその資格を喪失しても、本会に既に納入した会費等そのほかの拠出金は、理由の如何を問わず返還しないこととする。
第７条(賛助会員)
例会の講師は、理事会の承認を得て、賛助会員とすることができる。賛助会員は、月会費を不要とし、本会が運営する会合に会員と同額の費用で参加することができる。
第８条(顧問)
本会の趣旨に賛同し、会の発展に協力する学職経験者を理事会の承認を得て顧問とすることができる。
第９条(届出事項の変更)
1　会員は本会に届け出た法人名及び氏名、住所、電話番号及びメールアドレス等に変更が生じた場合には、遅滞なく本会に所定の方法により届け出ることとする。
2　前項の届出がないために本会からの通知、送付書類その他のものが延着し、または到着しなかった場合は、通常到着すべき時に会員に到着したものとみなす。但し、前項の変更を行わなかったことに、やむを得ない事情がある場合にはこの限りではない。
第１０条(支部の設置等)
1　本会は、理事会の決議により支部を設置する。
2　支部は、支部長、副支部長その他の役員を置くことができる。但し、支部長は、原則として本会の理事が就任する。
3　支部運営に要する経費は、本会の費用をもって充当する。
第１１条(規約の改定)
本規約の改廃は理事会の決議によって行う。
制定　2010年2月19日　理事会